

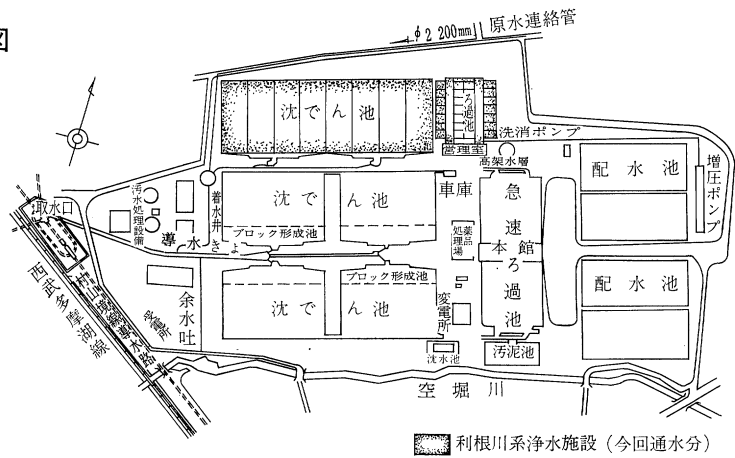
東村山浄水場増設分通水開始

東京都水道局は同局 30 年来の念願として利根川を水源として利用する拡張計画をすすめてきたが、さる7月2日、既設東村山浄水場の北側に浄水能力一日最大 30 万 m^3 の給水能力を持つ設備を完成、通水を開始した。

これにより同浄水場は既設能力一日 96.5 万 m^3 の能力を有する東京都最大の浄水場となった（本文ニュース欄参照）。

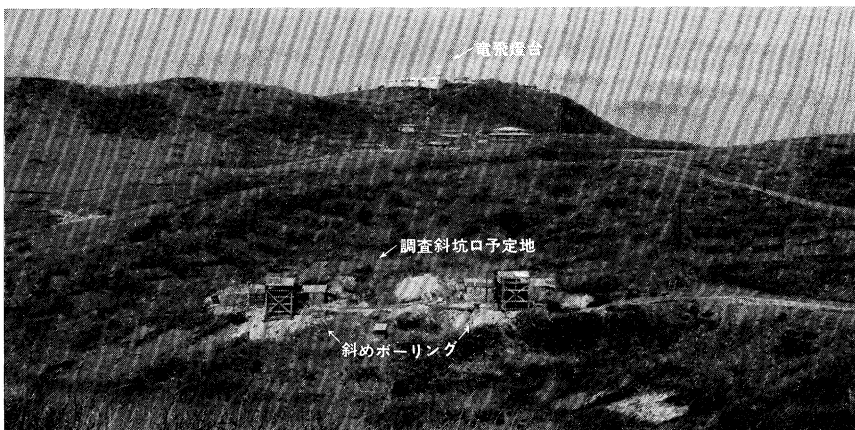
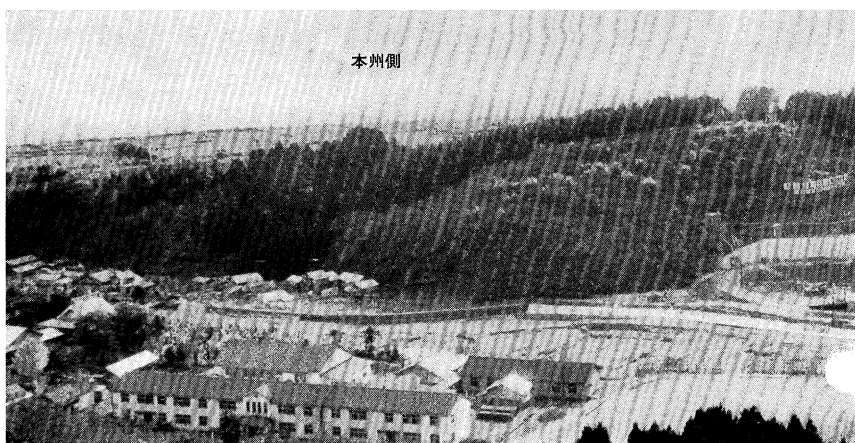
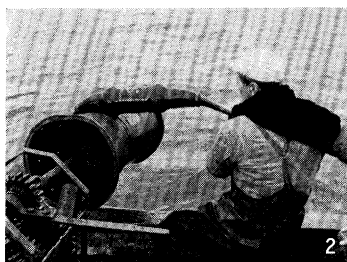


東村山浄水場一般平面図



写真提供・東京都水道局

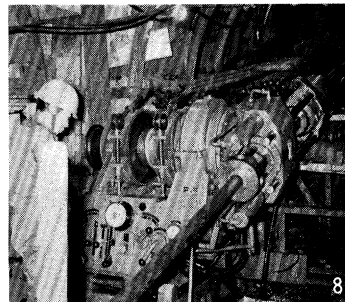
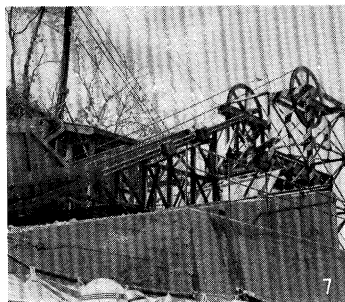
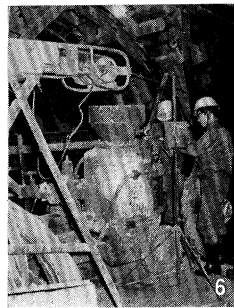
海峡をこえる青函トンネル



北海道と本州を結ぶ青函航路の輸送量は年々増える一方で、最近10年間に旅客は1.7倍、貨物は1.4倍に増加しており、1975年ごろを予想すると旅客が1.6倍、貨物が1.5倍(現在比)となる。この増大する輸送量を青函トンネルを掘り消化しようとする国鉄では、昭和21年から調査に入り種々の調査をしてきた。昭和39年5月、日本鉄道建設公団の手でさらにくわしい資料を入手するため北海道福島町吉岡からパイロットトンネルがおろされ本格的な調査が開始された。7月現在斜坑延長は475mに達し、その坑内では岩盤試験、コンクリート吹付試験、先進ボーリング、注入止水試験等の諸調査が行なわれ、きたるべき本工事に備えられている。また本年10月には本州側からも斜坑掘削が着工される予定であり、一方海底部分では、海底ボーリング、海底弾性波調査等が行なわれている。

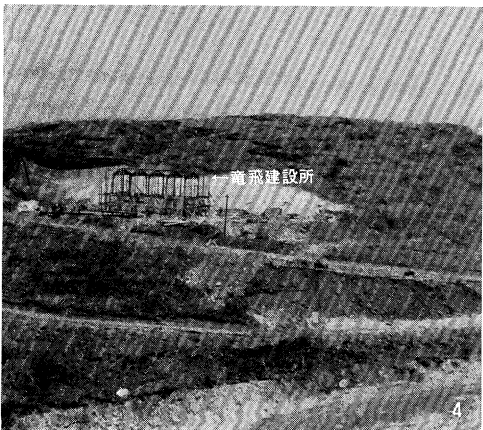
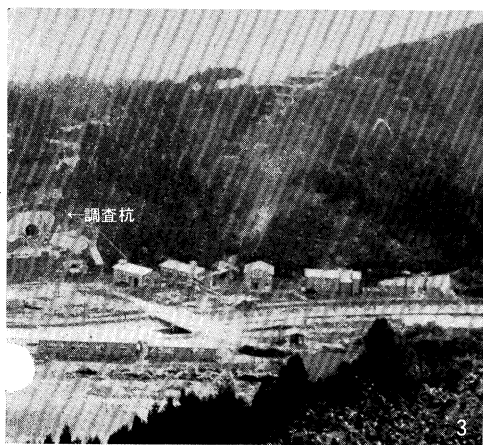
写真説明

1. 吉岡側調査斜坑坑内。左側に415 mの標識が見える。これより海底に入る
2. 弾性波式地質調査・海底用センサー引上げ
3. 北海道側斜坑入口
4. 本州側斜坑入口予定地
5. 吹付コンクリート作業
6. コンクリート吹付機
7. 坑外ずり積機設備
8. 先進ボーリング作業
9. 切羽付近



写真提供

1. 交通新聞社
- 2～9 日本鉄道建設公団



名神高速道路全線完成



わが国における初の本格的な高速道路として、多くの注目をあつめて建設がすすめられていた名神高速道路がこのほど全線完成、その建設工事に終止符がうたれた。

写真にみられるように、ここより東名高速道路が始まり東京へと日本道路公団の手で建設がすすめられることとなる（本文ニュース欄参照）。

写真提供・朝日新聞社